

	事前のお知らせ 特別展「宮沢賢治 友情のかたち」を開催
会 期	4月14日(土)～7月1日(日) 午前9時～午後6時 ※月曜定休・入場無料
会 場	練馬区立石神井公園ふるさと文化館分室（石神井台1-33-44）
<p>14日から、石神井公園ふるさと文化館分室（石神井台1丁目）で、特別展「宮沢賢治 友情のかたち」を開催します。（7月1日まで）</p> <p>どんなに時代が変わっても私たちのところに深く問いかけてやまない、宮沢賢治の作品とそこに至る賢治の人生には、友人たちとのつながりが深く関わっています。</p> <p>本展では、盛岡高等農林学校時代の友人とのつながりや、今年度没後30年を迎える、詩人・草野心平とのつながりなどをご紹介します、その稀有な友情を検証します。</p> <p>みどころ</p> <p>①親友・保阪嘉内（ほさかかない）あての書簡に記されたことば。</p> <p>②「セロひきのゴーシュ」のモデルと言われる、音楽の友・藤原嘉藤治（ふじわらかとうじ）との交友。</p> <p>③賢治を生涯賞賛し続けながら、賢治の生前一度も会うことが叶わなかった、草野心平との交友。</p> <p>④賢治を心に抱いてすぐれた業績を残した、児童文学者・堀尾青史（ほりおせいし）や、詩人・原子朗（はらしろう）など、練馬区に在住し、賢治研究に生涯をかけた人々の紹介。</p> <p style="text-align: right;">▲特別展チラシ</p>	



【紹介写真】



宮沢賢治
写真提供：日本近代文学館



紙芝居「キツネノゲントウ」
宮沢賢治原作のタイトル「雪渡り」（昭和17年）
脚本：堀尾青史／絵：宇田川種春／制作：日本教育紙芝居協会

<関連イベント>（会場はいずれも石神井松の風文化公園管理棟内）

1 プラネタリウムがやってくる！

石神井松の風文化公園管理棟2階多目的室にモバイル型のプラネタリウムが出現！宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」などを思いながら、星の世界を楽しみましょう。解説：(株)東京モバイルプラネタリウム

日 時：5月13日（日）①午前11時～午前11時30分 ②午後1時30分～午後2時 ③午後3時～午後3時30分

対 象：幼児～小学生と保護者

定 員：各回15組（1組3名まで。抽選）

参加費：一人100円

申 込：往復はがきまたはメールにて4月17日（火）必着

2 講演会「祖父からきいた宮沢賢治」

宮沢賢治の弟・宮沢清六氏の孫にあたる宮沢和樹氏をお迎えし、語り伝えられた賢治の日常や言葉、大切にしたことなどをお話いただきます。

解 説：宮澤和樹（株式会社林風舎代表取締役・宮沢賢治親族）

日 時：5月20日（日）午後2時～午後3時30分

対 象：中学生以上

定 員：100名（抽選）

参加費：無料

申 込：往復はがきまたはメールにて4月20日（金）必着

3 紙芝居で楽しむ宮沢賢治－堀尾青史の紙芝居－

宮沢賢治の詳細な年譜を作った賢治研究者であり、区ゆかりの児童文学者でもある堀尾青史（1914～1991年）が制作した、賢治原作による紙芝居を上演します。

解 説：元山三枝子（もとやまみえこ）（子どもの文化研究所 紙芝居資料室室長）他2名

演 目：「キツネノゲントウ（原題：「雪渡り）」、「どんぐりとやまね」「ふたごのほし」など

日 時：6月10日（日）午後2時～午後3時

定 員：30名

参加費：無料 申込：不要

4 朗読とチェロで楽しむ宮沢賢治

宮沢賢治は、童話「セロひきのゴーシュ」を著したように、クラシック音楽とチェロを愛したことでも有名です。声楽家で朗読家の梶取さより氏（練馬区演奏家協会会員）とチェリストの寺井つねひろ氏をお迎えし、賢治の世界を朗読と音楽でお楽しみいただきます。

日 時：7月1日（日）午後2時～午後3時30分

対 象：中学生以上

定 員：100名（抽選）

参加費：無料

申 込：往復はがきまたはメールにて6月5日（火）必着

5 展示解説

分室特別展「宮沢賢治－友情のかたち」の展示を、担当学芸員が解説します。

日 時：4月22日（日）・5月19日（土）・6月17日（日）いずれも午後2時～午後2時45分

参加費：無料 申込：不要

《1・2・4 イベントの申し込み方法》

往復はがきまたはメールに

①イベント名 ※1はA・B・Cの別も②氏名（ふりがな、2名まで）※1は3名まで③住所④電話番号を、〒177-0045 練馬区石神井台1-33-44 石神井公園ふるさと文化館分室まで
メールの場合は、event-bunshitsu@neribun.or.jpまで

【問い合わせ】石神井公園ふるさと文化館 電話 03-5372-2572